

日本郵船株式会社

中島 加那子さん

## Profile

岐阜県出身。2015年3月、滋賀大学経済学部情報管理学科卒業。同年4月に日本郵船株式会社に入社。東京大井コンテナターミナルで研修を受けた後、同年10月から主計グループに。2018年4月から客船事業グループへ。客船“飛鳥II”の企画・運営を行う郵船クルーズ株式会社を管掌する部署に所属し、同社の収支管理を担当している。海外旅行の好きな家庭に育ち、幼い頃から数十カ国に渡航経験。

## ゼミで養われたグローバルな問題意識を活かし、世界的に物流のインフラを支える海運業で働く。

### ゼミで身につけた数字の分析力を仕事に活かす。

2015年3月の卒業後、「日本郵船株式会社」に入社。日本郵船では、自分のビジョンもしっかりと持ちつつ、さまざまな環境に柔軟に対応できる社員が一丸となって切磋琢磨できる環境が整っています。「グローバルに働いてみたい」、「基幹インフラとして生活を支える使命感をもって働きたい」、「少人数ながらもチームとして大きなことに取り組みたい」、そんな思いを持って入社した私にとって、日本郵船は理想的な職場環境を提供してくれました。大井ふ頭のコンテナターミナルでコンテナのプランニングや積荷の書類のチェックなど船舶の運営に関わるさまざまな研修を積んだ後、ロサンゼルスでの物流研修を経て本社の経理を預かる主計グループへ。2018年4月からは世界一周クルーズなどで知られる客船「飛鳥II」の企画・運営をしているグループ会社「郵船クルーズ株式会社」の収支管理をする部署に配属され、数字の面から同社をサポートしています。現在、日常的に経理業務に携わることで、大学時代にゼミで鍛えられた数字の分析力が、活かされています。

### 歴史的風致に心動かされ、滋賀大学へ。

滋賀県のお隣、岐阜県の出身です。実業界での経済学部の評価が高く、通学も可能な国立大学ということで、高校時代にお世話になっていた先生から滋賀大学を勧められ、下見に訪れました。そして、琵琶湖と彦根城の美しさに魅了され、大学の雰囲気も気に入り、そこからは、「滋賀大学に入りたい!」との思いで勉強しました。パソコンが好きだったので情報管理学科に入りましたが、さらに会計やファ



インサンの専門性を鍛えて付加価値をつけたいと思い、会計情報学科の宮西先生のゼミに所属しました。滋賀大学は学科を越えて授業をとることができ、学生数に対して教授の数も多く、手厚く指導してもらえる大学だと実感しました。

### 自分の可能性を信じて全力投球。

サークルや部活動をやっていなかったことから、「大学ではゼミを頑張りました」と言えるようにしたいと思い、ゼミ選びにはかなりこだわりました。アメリカのビジネススクールで研究していた宮西先生のゼミは、ゼミ生のレベルも高く、国際色も豊か。「全力ゼミ」をモットーに、時には徹夜で準備してプレゼンに臨むこともありました。ハーバードビジネスレビューなど経済経営に関する英語の文献を読

んで英語力を鍛えたり、夏の間、毎週集まって一日開催される耐久ゼミもあったりと、トレーニングはとてもハードでしたが、ゼミでの勉学を通じてグローバルな問題意識を養うことができたと思います。そして、ゼミでの経験をきっかけに、1年間休学してカナダのトロント大学に留学しました。最初はハイスピードの英語の授業に圧倒されましたが、最終的には、トロント大学に入学を許可される最上位クラスを修了でき、実績を残すことができました。滋賀大学には堅実で優秀な学生が多く、また多様な分野を追求できるゼミの選択肢も提供されています。私の場合もまさに、ゼミ選びが人生のターニングポイントになったと言っても過言ではありません。自分の可能性を狭めることなく、大学時代に興味のあることに思う存分挑戦し、そして希望する企業に全力でアタックしてほしいと思います。